

<p style="text-align: center;"><b>日本古代技術史</b> (Ancient History Arts in Japan)</p>	<p style="text-align: center;"><b>1年・後期・2単位・選択必修</b> <b>3専攻共通・担当者名 大矢 良哲</b></p>	
<p>〔準学士課程(本科1-5年) 学習教育目標〕</p>	<p>〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕</p> <p style="text-align: center;">A -1(70%) , B -2(30%)</p>	<p>〔JABEE 基準〕</p> <p style="text-align: center;">(a) , (d-1)</p>
<p>〔講義の目的〕</p> <p>近年、考古学や歴史学が中心になって行っていた研究に理工学的な測定や解析が加えられ、新しい発見や研究の成果が明らかにされ、文化財学という新しい研究領域が生み出されようとしている。理工学の最先端を学ぶ人たちが、大昔の遺跡の遺物や歴史的建造物、さらに美術工芸品などを研究対象として、文化財を解析する時代になってきた。</p> <p>本講座では、本校の恵まれた立地条件を生かし、「世界遺産」に登録された文化遺産を現地に訪ね、実物を前にしてその構造や技法の見方、アジア史における位置づけを丁寧に解説する。世界に誇るべきわが国の先人たちの心と技の素晴らしさを、学生諸君が自らの体験の中で感得し、その重要性を理解できるような環境をつくるところに本講座の特色がある。教育目標は自国の技術・文化の学習を通じて、他民族や他国の文化についても理解を深めることができるようにすることである。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>授業は教室での座学と臨地講義の2つの形態で実施する。このうち臨地講義は全日または半日の時間を要するため、授業日を振り替えて行うことがある。</p> <p>拝観料(入館料、毎回約1000円)は旅行積立金より支出する。交通費等は各自負担。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>日本の文化がアジアとの交流で生み出されたことを理解し、各時代の文化の特徴を把握する。工学の立場から身近にある人類の世界遺産について理解を深める。</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>評価は授業の参加度(60点)、および受講態度(15点)、課題レポート(25点)等を総合して行い、定期試験は行わない。</p> <p>授業時間の3分の2以上の出席がない場合、成績評価の対象にならない。</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>プリント資料を配布する。</p> <p>〔参考文献〕</p> <p>『奈良・京都の古寺めぐり』『奈良の寺々 古建築の見かた』(いずれも岩波ジュニア新書)などがあるので、現地見学に活用して下さい。</p>		

## 講義項目・内容

講義数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1講	ガイダンス	講義の総論と講義のすすめ方を説明する。	
第2講	天文と計時	キトラ古墳・水落遺跡の科学知識について解説する。	
第3講	世界遺産 法隆寺の技術	【臨地講義】(西院伽藍・大宝蔵院・東院伽藍) ～大陸文化を越えて～	
第4講		五重塔や金堂・夢殿など、数々の古代建築の構造・機能・美の秘密を詳解。拝観できる仏像や美術工芸品についても取りあげ、法隆寺の大切さを認識してもらおう。(救世観音像特別開扉)	
第5講			
第6講	正倉院と宝物	正倉院宝庫と正倉院展出陳品について解説する。	
第7講	世界遺産 東大寺の技術	【臨地講義】(南大門・大仏殿・正倉院・奈良国立博物館) ～天平のテクノ・ルネサンス～	
第8講		大仏殿の建築、三月堂の仏像群、大仏蓮弁の仏世界図などを中心に、天平の建築・彫刻・絵画の技法を中心に講義。また、鎌倉復興期における南大門の新建築様式(大仏様)、仁王像や石獅子の技法を解説、さらに正倉院および奈良国立博物館で開催される特別展「正倉院展」を見学する。	
第9講			
第10講	世界遺産 平等院の技術	【臨地講義】(宇治上神社・平等院鳳翔館・鳳凰堂) ～浄土世界の空間構成と日本的木彫技法の完成～	
第11講		日本の建築美を代表する平等院鳳凰堂は、極楽浄土を描いた曼荼羅の中の仏殿を具現化したものと伝えられる。宇治の歴史的景観のなかで、鳳凰堂の細部意匠、本尊の寄木技法、壁画の彩色顔料、作庭法を講義し、その建築空間の面白さを味わう。	
第12講			
第13講	世界遺産 薬師寺の技術	【臨地講義】(薬師寺) ～薬師信仰の隆盛と盛唐文化の影響～	
第14講		薬師寺では鮮やかに再建された伽藍をはじめ、古代金銅仏の大作薬師三尊、吉祥天画像などの名品、さらに玄奘三蔵の偉業を解説する。(吉祥天画像特別開扉)	
第15講	まとめ		

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.  
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)